

文京区労協ニュース

文京区労働組合協議会 〒112-0002 東京都文京区小石川 2-21-8 メール：BCF06005@nifty.com

TEL：03-3815-1558 FAX：03-3813-6006 FaceBook <https://www.facebook.com/profile.php?id=100025594991506>

定期大会を成功させよう！

第63回 文京区労協 定期大会

●日時 10月31日（日）10時30分開会

●会場 文京シビックセンター26F

・スカイホール

文京区労協の定期大会はこの1年間の運動・活動を総括し、私たちがめぐる内外の情勢を明らかにし、今後1年間の運動方針を確立するための大会です。また財政報告を行い、新役員を選出します。当日の出席は代議員5名の労組は2名、5名以下の労組は1名の出席をお願いします。当日出席出来ない代議員は委任状の提出をお願いします。今回の定期大会は会場の都合上、日曜日の午前中のみでの大会となりますので事前に文書での発言準備をお願い致します。

《(株)二玄社・渡邊也寸美社長、 都労委で衝撃的な審問証人尋問発言!!》



8月30日（月）約束の時間に少し遅れて、13時38分から出版労連二玄社労組の渡邊也寸美社長と星野

則幸委員長の審問が行われました。審問室に12名、別室に組合支援者20名がモニター傍聴。星野委員長が宣誓して主尋問に35分、反対尋問に20分。組合結成の理由、団交の回数や出席者。ブックフェスティバルの業務の指示・命令と経過報告。業務会議のメンバーの様子。決定の仕方。田中組合員の脱退の理由。一年半にわたる団交拒否、不誠実な対応、一時金不支給と賃上げ不実施の理由。業績の改善から業務指示や勤務態度の理由説明無し。組合嫌悪。社長の勤務実際と応答無し。組合員の生活状況など証言しました。使用者側にポイントになることは、何一つ無い感じでした。聴いて座っている渡邊社長は、扇子を仰ぎながら、我関せずといった態

度でした。休憩後 15 時 10 分から渡邊也寸美社長の宣誓の後、主尋問に 35 分、主に労組側弁護士の岸先生による反対尋問が 70 分ほど行われました。渡邊也寸美社長すぐに答えなかったり、口ごもり良く聞かえない、はっきり喋らない証言でした。過去 2 回の都労委では『都労委和解』をしたので審問を行なっていませんでしたので、今回初めての場面となりました。渡邊也寸美社長は「自分に都合の良い解釈で、物事を考えてしまい、それを妄想のように思いこんでいて、誰かに糾かれても居直ってしまう」嘘なのに誰かのせいにする事で責任逃れをして、自分に不利なことは喋らない。組合結成以来、従業員には一時金も賃上げをしていないのに、役員報酬は、2 回以上行なっていることに、何も考えようもしない。会社が支払ってきた生命保険金と役員慰労金の関係にも額についても言いたく無い。慰労金は、私と母と弟に使った。会社継承の為と証言しました。最後に公益委員で、東京大学教授で労働法制の作成整備に関わっていて、都労委のトップでいくつもの和解を成立させていて、温厚で粘り強い町村勇一郎委員が、「和解協定の調書を作成した際に、私が文書を全部読みあげたことを覚えていますか?」と確認しました。3 回目の東京労働委員会でも、和解協定を結んでも「守らない」無責任な相手であることを示してくれました。審問室の中は、相手代理人弁護士も使用者側委員も誰も助ける様子は、ありませんでした。次回は、審問の記録を確認してもらい、修正があれば知らせてもらうとして、10 月 15 日(金)10 時 30 分と決めました。

(文京区労協副議長・小川富弘)

10 月の主な宣伝行動

- 1 (金) 北部ブロック最賃宣伝行動 (後樂園) 18:00~19:00
- 6 (水) 反核 69・憲法宣伝行動 (本三) 12:15~
- 15 (金) 二玄社都労委審尋 (都庁) 10:30~
- 19 (火) 文京アクション総会 (区民センター 3C) 18:30~
- 23 (土)・24 (日) はたらく女性の中央集会 (東京)
- 25 (月) 消費税増税反対宣伝行動 (根津) 12:15~
- 31 (日) **文京区労協・第 6 3 回定期大会**
(文京シビック・スカイホール) 10:30~

《 コミュニティユニオン東京(CU東京)文京支部 第 12 回定期大会開催!! 》



コロナ禍と台風の中、9 月 18 日(土) コミュニティユニオン東京(CU東京)文京支部の第 12 回定期大会が行われました。小川富弘委員長は、「労働組合は助け合い頼られる組織である。」と強調しての開会のあいさつ。

CU東京本部の高木典男書記長が 1600 人達成の意義を話され、文京区労協の大谷昇議長が文京地域の中で働いている個々の労働者の相談に対応するなど CU 東京文京支部が役割を果たしていると連帯のあいさつをいただきました。支部の組合員でもある日本共産党福手ゆう子都議会議員はジェンダー平等社会をめざすと話し、大会を激励していただきました。(東京土建文京支部からは例年通りメッセージをいただきました。ありがとうございました。)

大会では、労働相談が孤立した労働者の励ましになっている事、あきらめずに闘えば、厚労省の見解も変えられることなどが報告され、組合員の心のつながりでは、大会ごとに直接個々の組合員から帰ってくる「委任状」(欠席ではあるのですが)の役割にも触れ、文京支部の第 1 番目の加入者が、昨年入院給付金を受けたこともあってか、12 年間の中で初めて、「委任状」に意見を載せて返信があったという嬉しい報告もありました。

最賃 1500 円実現の運動と、文京支部 200 名を目指す決意を確認して終了しました。

(コミュニティユニオン東京〈CU東京〉文京支部
書記長 山田三平)